発行日	令和８年（2026 年）９月 30 日
発行元	災害対策課
所属長	清水 計秀
電　話	06－6489－6165



防災対策情報便

尼崎市災害対策課
令和8年度 vol. 2

01 この夏を振り返る

今年の夏は、7月28日に熊本県で最大震度7を観測した「令和8年熊本地震」や、「令和8年8月千葉豪雨」をはじめ、地震、豪雨、台風などの災害が全国で相次ぎました。

台風の発生数も9月24日現在で26個となり、年間の平年値（25.1個）をすでに上回っています。

10月中旬にかけては、台風に加えて「秋雨前線」にも注意が必要です。秋雨前線は、秋に日本付近に停滞して長雨をもたらす前線で、台風が近づくと暖かく湿った風により活動が活発化し、大雨をもたらすことがあります。台風から離れた地域でも大雨となる場合があるため、油断はできません。

次なる災害に備え、ハザードマップや避難先、家庭内の備蓄などを今一度確認してください。

02 令和8年熊本地震に係る職員派遣について

令和8年熊本地震における災害応急対策などの支援に係り、職員を派遣しました。

1．実施内容
①被災地における応急給水業務
②震災・学校支援チーム（EARTH）の派遣
③家屋被害認定調査

2．支援先
①熊本県氷川町（八代市の一部を含む）
②.③熊本県宇城市

3．期間
①8月6日（木曜日）から8月12日（水曜日）まで
②8月24日（月曜日）から8月28日（金曜日）まで
③8月26日（水曜日）から8月31日（月曜日）まで

市ホームページ
「令和8年熊本地震について」





熊本県での災害応急対策の様子

03　毎日の習慣が命を守る！～フレイル予防で始める防災～

●「フレイル予防」が防災につながるって本当？

　年齢とともに筋力や心身の活力が低下した状態を「フレイル」といいます。災害時に自分の力で避難し、その後も健康に過ごすためには、日頃からのフレイル予防が大切です。
　「運動・栄養（口腔）・社会参加」の3つを意識した健康づくりは、災害への備えにもつながります。



●高校生と一緒に作った「フレイル防災体操」で、楽しく健康づくり！

　楽しく体を動かしながらフレイル予防に取り組めるよう、兵庫県立尼崎小田高等学校 看護医療・健康類型の生徒の皆さんと協力し、「フレイル予防×防災リーフレット」および「フレイル防災体操動画」を作成しました。
　日頃の健康づくりや災害への備えに、ぜひご活用ください。





市ホームページ
「防災にも役立つ生活習慣づくり
～フレイル予防×防災～」

●「いきいき百歳体操」で健康づくりと地域のつながりを！

　尼崎市では、高齢者の皆さんが身近な地域で気軽に参加できる健康づくりの場として、「いきいき百歳体操」を推進しています。地域の皆さんと一緒に体を動かすことは、筋力や体力の維持につながるだけでなく、顔の見える関係づくりにもつながります。こうした地域のつながりは、災害時の助け合いや支え合いにも役立ちます。
　ぜひ、お近くの「いきいき百歳体操」にご参加ください。

お問合せ先

包括支援担当
TEL:06-6489-6356



市ホームページ
「いきいき百歳体操」

04　各種イベントについて

送配電設備見学会について

9月8日（火）、関西電力送配電株式会社 阪神営業所を視察しました。
停電が発生した際は、次の流れで復旧作業が進められます。
①事務所のシステムによる自動送電
②現地での調査
③現地での復旧作業
視察では、こうした復旧の仕組みや配電設備について説明を受け、実際の作業の様子も見学しました。
なお、本市では、平時から同社と災害時の連携方法を確認しています。


事業説明の様子


送電線復旧訓練の様子

学校防災体制推進研修について

7月24日（金）に立花西小学校にて、学校防災体制推進研修を実施いたしました。
教職員や地域の方々に参加いただき、災害時にどのような行動をとればよいのかや、教職員を対象とした防災講座を実施したほか、応急給水栓やマンホールトイレの設置訓練も行い、防災体制と防災教育の向上と充実化を図りました。


防災講座の様子


マンホールトイレの設置


応急給水栓の設置

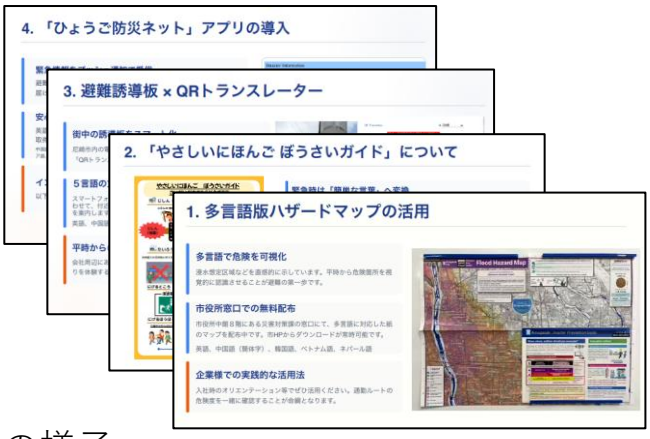
外国人とそなえる企業防災セミナー

7月3日（金）、オープンイノベーション拠点ARKade（神田中通２丁目）で外国人従業員を雇用する企業を対象に、多文化共生の視点からの防災体制づくりを進めることを目的とした「外国人とそなえる企業防災セミナー」を開催しました。

セミナーでは、市の外国籍住民の状況、企業内での外国人従業員向け防災教育、企業・行政・地域が連携した避難訓練の事例、多言語版ハザードマップや「やさしいにほんご」を活用した情報発信の工夫、さらに留学生が語る母国と日本の災害常識の違いなど、多彩なテーマで報告が行われました。

参加者は、平時からの防災教育と対話の大切さを改めて共有しました。





セミナーの様子

令和８年度第１回災害時要援護者支援連絡会

8月31日（月）、中央北生涯学習プラザにおいて、兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授の松川 杏寧氏を招いて、「顔の見える関係から始まる避難支援 ～ひとつだけじゃない避難の選択肢～」をテーマに研修会を開催しました。この研修会は、「個別避難計画」の実効性を高めるため、当事者・支援者・地域・行政が「顔の見える関係」を築き、避難支援の課題を関係団体間で相互に理解することを目的としたものです。

参加者に本研修会を聴講いただくことで、避難支援における課題への理解を深めることができました。



松川 杏寧氏による講演の様子

